

令和2年度実績・3年度取組状況

R2年度

文化庁の指摘を
踏まえ、基盤整備
を優先

R3~4年度

補助事業を活用した
ソフト・ハード両面
の整備

R5~7年度

R4年度までの事業を
ベースとした持続可能な
体制づくり

R8年度

継続認定
審査

日本遺産認定案件に係る文化庁指摘事項（抜粋）

- 認定をゴールとせず、「日本遺産」の認定にふさわしい地域振興や観光振興のための基盤のソフト・ハード両面での整備に積極的に取り組むこと。
- 訪れる人の満足度を向上させるような現地での解説案内板の整備やガイド育成等の受入環境整備を最優先で取り組むこと。
受入環境整備ができていない中で、初年度からホームページ作成などの事業を実施することは避け、広告宣伝やシンポジウム開催などは最小限の実施とすること。
- 地域活性化計画の実施に当たっては、地元の人々の側のみならず、訪問客の側にも立った魅力ある地域づくりを目指して、多角的な視点から取り組むこと。
特に地方公共団体だけでなく、事業に主体的に参画する民間事業者を積極的に巻き込むなど、早期の自立化及び長期的視野に立った実施体制の充実を図ること。

実行委員会事業（日本遺産関連）の構成

補助事業

日本遺産事業補助金

文化芸術振興費補助金
地域文化財総合活用推進事業（日本遺産）
（補助率：100%）

文化資源活用事業費補助金
地域文化財総合活用推進事業（日本遺産）
（補助率：65%）

人材育成

観光ガイド等の人
材養成

普及啓発

ワークショップ、
シンポジウム等の
開催

調査研究

調査研究、モニ
ターツアー等

情報コンテンツ作成

情報発信コンテンツの制作・
発信及び環境整備

活用整備

構成文化財の活用に資する設
備及び広域文化観光に必要な
施設の整備

その他事業補助金

文化芸術振興費補助金
地域文化財総合活用推進事業（地域計画等）
（補助率：定額）

文化資源活用事業費補助金
地域文化財総合活用推進事業（地域計画等）
（補助率：65%）

+

単独事業

R2年度

- 市民向け講座
(兼ガイド養成講座)
- 観光事業者向け研修
- 「中世の食」おもてなし人育成
- 体験コンテンツ開発

発展させ継続

R3普及啓発として継続

R3年度

- 市民活動創出 ← R2普及啓発からの継続
- 地域ナビゲーター養成

開発された
コンテンツ



R2年度

- 市広報等
- 日本遺産フェスティバル参加
- 「中世の食」普及
- 市民活動創出 → R3人材育成として継続

継続

継続

R3年度

- 市広報等
- 日本遺産フェスティバル参加
- 体験コンテンツ開発 ← R2人材育成からの継続
- シンポジウム開催

市広報での連載

日本遺産のまち益田の歩き方

第1回 柳代賀姫神社



柳代賀姫神社からの眺望。眼前に益田川の河口。右手奥の松林が砂州。

広報益田 令和2 2020年 9月号 6

フェスティバルでのPR



益田氏イラスト化

市民活動の実現

情報発信イベント



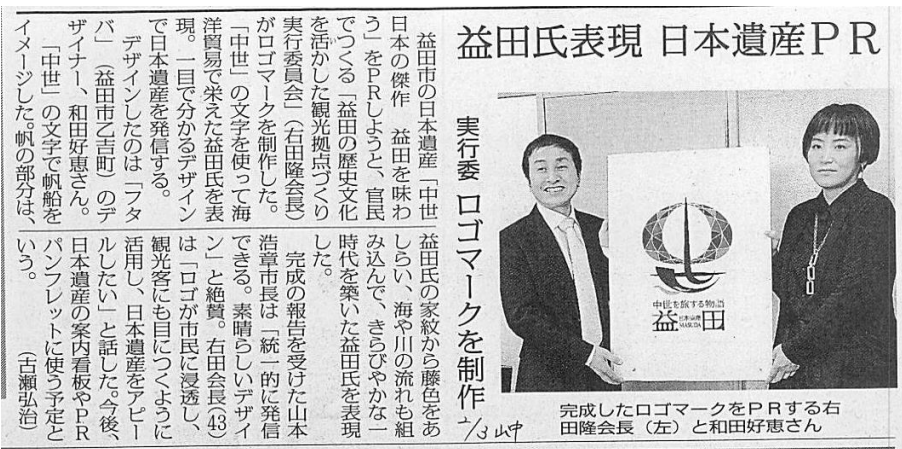
R2年度

■ なし

R3年度

■ 都茂鉾山調査研究

(R2 情報コンテンツ作成)



活用事例



R2年度

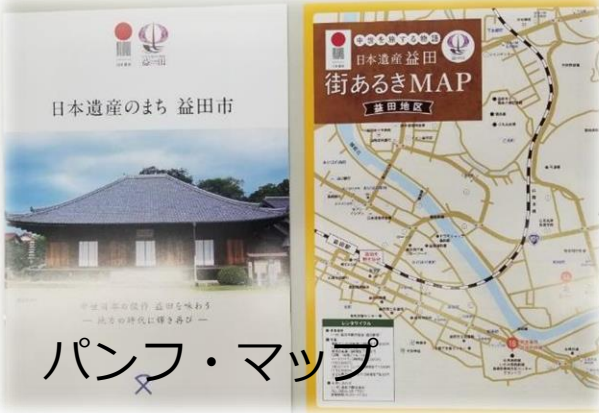
- オリジナルロゴ作成
- マップ・パンフレット作成
- 雪舟庭園PR映像作成

継続

継続

R3年度

- ポータルサイト作成
- 外国語パンフレット作成
- 雪舟庭園PR映像作成
- 広域周遊促進グッズ作成
- 広域連携による普及啓発
(スタンプラリー・オンラインツアー)
- デジタルコンテンツ作成
- 外国人マーケティング調査



R2年度

- サイン計画
(益田地区)
- Wi-Fiスポット整備
- 雪舟庭園活用
- 都茂鉾山環境整備

R3年度

継続

- サイン計画／整備
(吉田・美都・匹見地区／益田地区)

継続

- Wi-Fiスポット整備

継続

- 雪舟庭園活用
- ビジターセンター展示室整備

サイン設置イメージ



萬福寺でのおもてなし研修



都茂鉾山
支障木伐採



R2年度

- まちあるきマップ作成
(中世益田、美都、匹見、古墳、
旧山陰道、人麿)
- シンポジウム
- モニターツアー
- デジタルスタンプラリー
- 武将カード作成

継続

継続

R3情報コンテンツ
作成として継続

R3年度

- まちあるきマップ作成
(高津川、匹見川)
- シンポジウム
- 地域文化遺産パートナー育成

